

名古屋市中部におけるコカモメヅルの記録

中村 肇

名古屋自然史談話会

Report of *Vincetoxicum floribundum* in Central Nagoya, Aichi, Japan

Hajime NAKAMURA

Nagoya Natural History Society

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail: nakamura@tameike.info

要旨

名古屋市中部の緑地において、コカモメヅル *Vincetoxicum floribundum* の生育を確認した。

はじめに

コカモメヅル *Vincetoxicum floribundum* は、草地に生える蔓性の多年草で (山城, 2017), レッドデータブックなごや2015 (名古屋市環境局, 2015) では絶滅とされているが, 名古屋市版レッドリスト2020 (名古屋市, 2020) では守山区志段味で採集された標本が引用され絶滅危惧IB類と評価されている。

2016年, 筆者は名古屋市中部の緑地にコカモメヅルが生育しているとの情報を得た (中村, 未発表)。得られた情報をもとに現地調査をしたところ, コカモメヅル10株程度の生育を確認できたため不定期に調査を継続した。

本稿では, この緑地で確認したコカモメヅルの観察記録などについて報告する。なお, 生育環境保護のため, 生育地情報は非公開とする。標本は公的な場所で保管されているが, その所在等については筆者に問合せされた。

観察記録

2017年9月15日, 花および果実を確認 (図1)。

2018年1月7日, 成熟した果実および種子を確認 (図2)。

2018年10月13日, 果実を確認 (図3)。

2021年8月29日, 花を確認 (図4)。

考察

今回, コカモメヅルの生育を確認した場所は, 緑地外縁の狭い範囲に限られているものの, 生育環境として安定しているものと考えられる。しかしながら, 緑地管理の一環で行われる草刈りなどに起因して消失してしまう恐れもあり, 今後も注視していく必要があると考えている。

引用文献

名古屋市. 2020. 名古屋市版レッドリスト2020. <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000125/125632/redlist2020.pdf>. 2023年8月31日確認

名古屋市環境局. 2015. レッドデータブックなごや2015 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 植物編. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋. 385pp.

山城 考. 2017. コカモメヅル. 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 改訂新版 日本の野生植物 4, p.319. 平凡社, 東京.



図1. ココモメヅルの花と果実（2017年9月15日）



図2. ココモメヅルの果実と種子（2018年1月7日）



図3. ココモメヅルの果実（2018年10月13日）



図4. ココモメヅルの花（2021年8月29日）